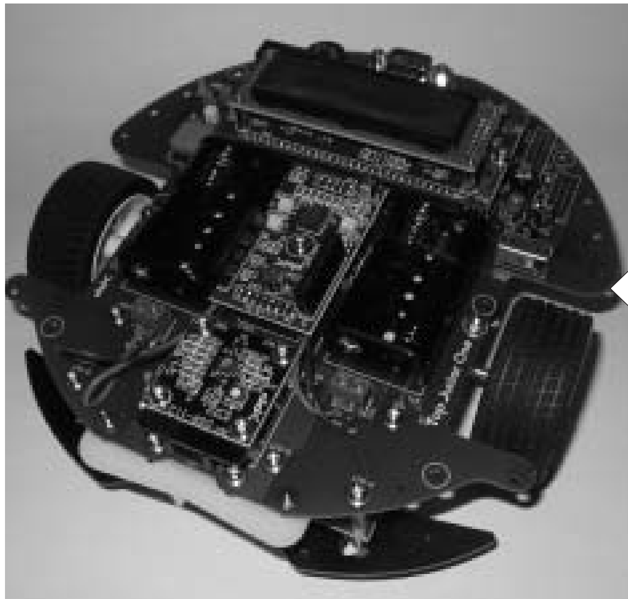
ニューフェイスのロボットキット

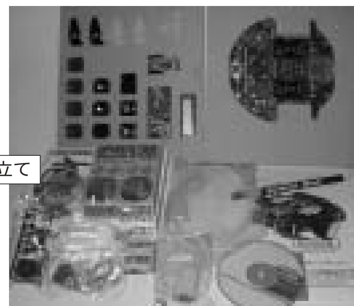
「トップ・ジュニア・ワン」

ほとんど配線のない丈夫な機体を、本格的なC-Styleプログラムで制御する

「ロボマガ」記者・城井田 勝仁



大きさ：縦20cm、横20cm、高さ7.5cm
重　量：650g（オプション非装着時）
価　格：29,800円



組立て

メインボード	1個
CPUボード（ATmega128）	1個
LCD表示器	1個
モータードライバー	1個
赤外ボールセンサー	1個
グレーセンサー	2個
タッチSW（バンパー）	4個
タミヤ6速ギヤーモーター	2個
ボールキャスター	1個
56mmタイヤ	2個
単3乾電池	4本
USBケーブル	1個
CD-ROM「C-Style System」	1枚
取扱説明書	

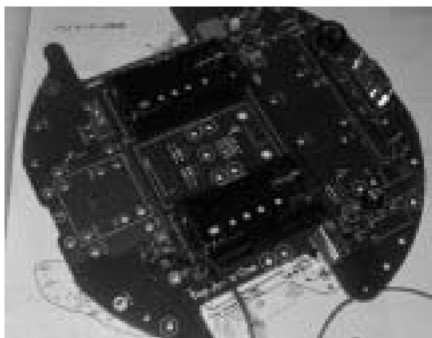
【製造・販売】株式会社ダイセン電子工業
〒556-0005　大阪府大阪市浪速区日本橋4丁目9-24
Tel：06-6631-5553　Fax：06-6631-6886
E-mail：ddk@daisendenshi.com
URL：http://www.daisendenshi.com/

配線作業はギアボックスとの間のみ！ 導体であるスペーサーを使って、各センサーとの接続が行われる

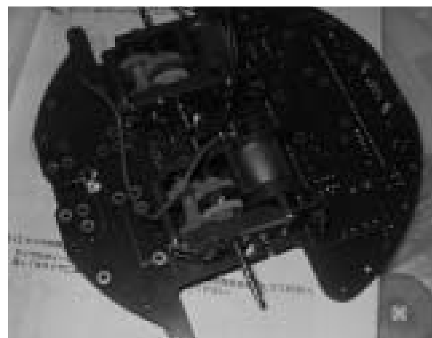
トップ・ジュニア・ワン（Top Junior One）は、はんだ付けを必要としないロボットキットである。よって低年齢でも扱えるが、その組み立てにはある程度の手先の器用さが要求される。部品の入り組んだ場所でのねじ止め作業が少なくないからだ。パッケージには対象年齢は特に記されていないが、小学校高学年くらいにならないと1人で組み立てるのは難しいかもしれない。

はんだ付けをする箇所がない理由は2つある。1つは、モータードライバーやCPUボードが完成された状態で同梱されていること。そして、もう1つは、ギアボックスとの間しか配線作業がないことである。

1つしかない配線作業はねじ止めで行える



メイン基盤が、そのままトップ・ジュニア・ワンのボディとなる。電池ボックスや電子部品などはあらかじめ取り付けられているので、はんだ付けは必要ない。



足回りとなるギアボックスには、市販のタミヤ製「6速ギヤボックスHE」が使われている。パワーと強度に定評のあるギアボックスだ。



ビニール線を使うのは、ギアボックスとの間の配線だけだ。本体との接続はねじ止めで行う。